

里山辺地区	令和4年度	推進交付金：750,000円
取組み1 里山辺わいわいカレー事業 里山辺地区まちづくり協議会、里山辺公民館共催		推進交付金の活用
		有
<p>(1) 目的 地域の子どもたちが地域の遊休農地で土や泥に触れて農業を体験し、自分でつくった作物の成育を観察して収穫の喜びを感じながら味わう中で、自然との共生・食物の大切さ・地域の大人とのつながりを学びます。</p> <p>(2) 取組み ア 小学生等（延べ176名）が、水田（7アール）での米作りと、畑（2アール）でのじゃがいも・人参等の栽培・収穫を体験し、地域の農業後継者やボランティアの皆さんから、自然環境と向き合い農業の大切さや農業を通じた地域の人とのつながりの温かさを学んでいる。 イ 収穫した米や野菜で作った料理を味わい、農と食とのつながりを体感できる場としている。また、3年ぶりに収穫祭を開催しました。</p>		
<p>(3) 今後の展開 「地域の子どもは地域で育てる」取組みとして継続することで園児から小学校高学年までの子どもたちが幅広く参加しています。自分たちの住む地域へ関心を高めるとともに、自然を五感で感じ、自分で育てた作物を味わう食育の場となっています。 引き続き、参加者が山辺の地域性や歴史を学ぶ機会にしていきたいです。</p>		



4/17 ジャガイモ植付け



5/15 田植え



7/16 ジャガイモ収穫



9/10 稲刈り

取組み2 里山辺地区あいさつ運動推進事業

推進交付金の活用

里山辺地区まちづくり協議会主催

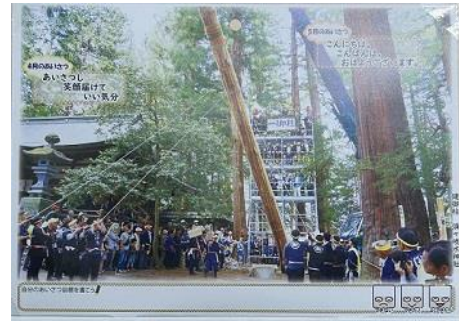
有

(1) 目的

地域と学校の連携により「声かけ、あいさつ運動」を実施し、家族・地域のつながりを深め安全で豊かな人間関係のある明るく住みよい地域を目指します。

(2) 取組み

ア 里山辺地区の園児・児童・生徒が作成した絵を提供してもらい「令和5年度あいさつ運動カレンダー」を作製し、地区内全戸及び山辺小・中学校等に配布して、あいさつ運動の推進に努めました。



挿し絵提供：山辺小学校



挿し絵提供：里山辺保育園



挿し絵提供：山辺中学校

(3) 今後の展開

この運動が地域に浸透し、挨拶が飛び交う豊かな人間関係のある、住みよい地域となるように事業内容等について検討していきます。

取組み3 里山辺地区文化財等保存継承事業

推進交付金の活用

里山辺地区まちづくり協議会、里山辺公民館共催

有

(1) 目的

文化財の説明立て看板を設置することにより、地区住民が文化財等に親しみ、受け継がれてきた地域の歴史を感じて地域を大切に誇りに感じられるきっかけを作ります。

(2) 取組み

平成29年度に発刊した「里山辺地区文化財等全調査集」に掲載した文化財等の中から4つの文化財等を抜粋して、文化財等の説明立て看板を作製し、設置した。



林村「村内堤防」跡



林古城入口



百度石



薬師堂

(3) 今後の展開

全調査集に掲載した文化財等は膨大な数であり、全てに説明立て看板等を設置することは難しいが、地域住民が文化財等に対して、より親しみを持つ環境を整えていく必要がある。

取組み4 里山辺地区まちづくり事業

推進交付金の活用

里山辺地区まちづくり協議会主催

有

(1) 目的

地区住民が自主的な地域活動（つながろう会）に参加し、里山辺地区の課題を探り解決するための方策を検討します。

(2) 取組み

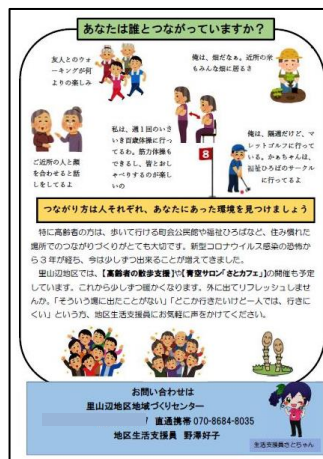
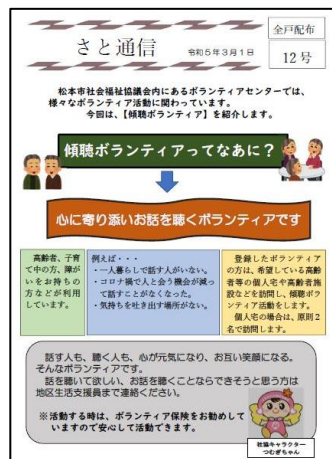
ア 過去の話し合いから出た課題解決に向けた活動として、コミュニティづくり（さとカフェ）で使用されるテーブルを製作し、開催しました。



地域住民のコミュニティづくり
(テーブル作成)

地域住民のコミュニティづくり
(さとカフェの開催)

イ 情報誌『さと通信』を年3回、全戸配布しました。



(3) 今後の展開

過去の話し合いから出てきた課題解決に向けて、できそうなものから取り組んでいく。